・本書に使用しているイラストは、操作方法や仕組みなどを分かりやすくするため、実物とは多少異なる場合があります。
・本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
・製品の品質向上のため、予告なしに一部仕様変更する場合もありますので、あしからずご了承ください。

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦4-9-25 芝浦スクエアビル
ベビー事業部 お客様サポートセンター　TEL 0120-415-814　携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL 0570-004-155

20-08

NWL0001275587A

Aprica

ベビーカー

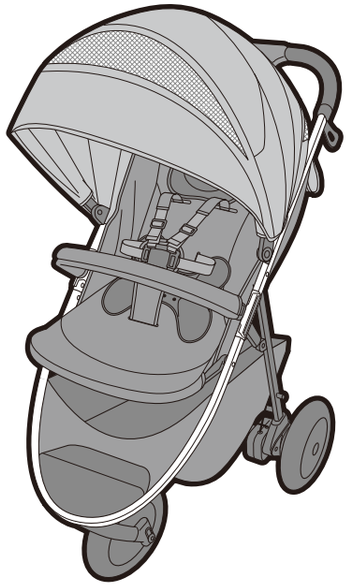
スムーヴ　プレシャス

取扱説明書／保証書

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この製品は生後１カ月※～36カ月（体重約15kg）までの乳幼児1人用ベビーカーです。

※ここでいう生後1カ月とは、出生時に体重2.5kg以上かつ在胎週数37週以上を満たし、1カ月を経過した乳児を指します。この条件を満たさないお子さまへのご使用については医師にご相談ください。

ご使用の前に、取扱説明書（本書）をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになった後は、本書はいつも取り出せる場所に必ず保管してください。
本書に記載されている以外の方法で使用しないでください。製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。



・本製品は専用アタッチメントを使用して、対応インファントカーシートを取り付けてもお使いいただけます。
・インファントカーシート、アタッチメントは別売りです。
・専用アタッチメント及びインファントカーシートの取り付け方は、アタッチメントの取扱説明書をご覧ください。

SG安全基準A形

目　次

はじめに

ご使用前に …… 1
　保護者の方へのアドバイス／SG基準について／本書の表示について
ご使用上の注意 …… 2〜4
　警告／注意
製品を取り出した時に …… 5
　製品の特徴
各部の名称 …… 6

ベビーカーの使用方法

ベビーカーの組み立て・開き方 …… 7
ストッパーの使い方 …… 8
ハンドルブレーキの使い方 …… 8
フロントガードの開き方 …… 9
足のせサポートの使い方 …… 9
シートベルトの使い方 …… 10
お子さまの乗せ方 …… 11
肩ベルトの高さ調節 …… 13
リクライニングの角度調節 …… 14
パッド類の取り付け方 …… 15
日除けの使い方 …… 16
ブランケットの使い方 …… 17
カゴの使い方 …… 18
ベビーカーの折りたたみ方 …… 19
　折りたたんだ後に …… 20

縫製品の取り外し・取り付け

シートの取り外し方 …… 21
シートの取り付け方 …… 22

その他

日常のお手入れ …… 23
　縫製品の洗浄方法 …… 23
　車体のお手入れ …… 23
　ハンドルブレーキの調節について …… 24
　タイヤのお手入れ …… 25
　注油について …… 26
保管について …… 26
廃棄について／SGマーク制度について …… 27
困った時 …… 28
保証とアフターサービスについて …… 29
保証書 …… 30

ご使用前に

保護者の方へのアドバイス

安全、快適にお使いいただくために

- ベビーカーの連続使用、長時間使用は避けましょう。
- お子さまに直射日光が当たらないように配慮しましょう。
- 騒音や粉じんの多い人混みはなるべく避けましょう。
- 振動や衝撃のかかりやすい段差や道路はできるだけ避けましょう。

SG基準について

・SGマークが表示されたベビーカーは、製品安全協会の規定で定められた、つぎのような基準を満たしています。(この製品は、SG安全基準A形合格品です。)

適用範囲	このベビーカーは、一般家庭を対象として、乳幼児を乗せ、外気浴、買物などに使用する1人乗り用のベビーカーです。
形式の分類	A形　生後1カ月を過ぎまだ首がすわらない乳児から寝かせた姿勢で使用できるベビーカー。
使用範囲	生後1カ月から36カ月まで
望ましい連続使用時間	寝かせた姿勢:2時間以内　座らせた姿勢:1時間以内
背もたれ角度	150°以上
車輪の外径	115mm以上

・ベビーカーにインファントカーシート(別売り)を取り付けてご使用された場合には、SGマーク制度の対象にはなりません。

本書の表示について

・「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表示	表示の内容
⚠警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

禁止図記号	表示の意味
⃠	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。
アドバイス	製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

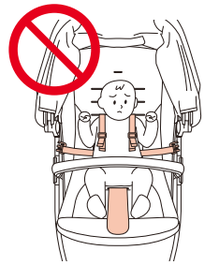
ご使用上の注意

・思わぬ事故につながるおそれがありますので、ご使用の前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

⚠警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

お子さまが落ちるおそれがあります。

シートベルト(肩ベルト、腰ベルト、股ベルト)を外して使用しない。

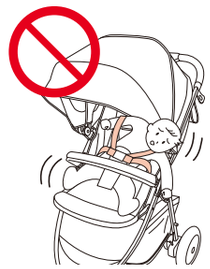


ベビーカーの上でお子さまを立たせない。



お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。



ベビーカーが転倒するおそれがあります。

二人以上のお子さまを同時に乗せたり、シート以外のところに乗せない。



お子さまを乗せている時、カゴ以外のところに荷物を載せたり、ハンドルや折りたたみロックにつるしたりしない。また、ハンドルによりかかったりしない。



階段やエスカレーターなど大きな段差のあるところで使用しない。



ベビーカーがバランスを崩して転倒し、お子さまが落ちるおそれがあります。

お子さまだけでベビーカーに乗り降りさせない。



お子さまをフットレストの上に立たせない。



〈次ページに続く〉

はじめに

⚠警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

坂道などでベビーカーが勝手に走行、転倒するおそれがあります。

お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーをロックし、ベビーカーが動かないことを確認する。



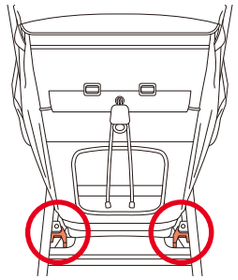
お子さまや荷物をのせた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようにできるものではありません。



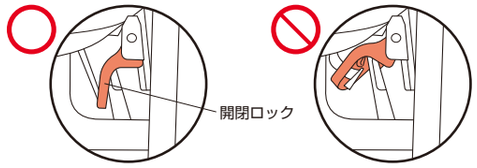
お子さまを乗せたままベビーカーを離れない。



ベビーカーが折りたたまれ、お子さまが落ちたり、挟まれるおそれがあります。



〈開閉ロックした状態〉　〈ロックしていない状態〉



・使用前はハンドル部分を2～3回上下させ、完全に車体が開いていることを確認する。
・開閉ロックが下りていることを確認する。(左右)

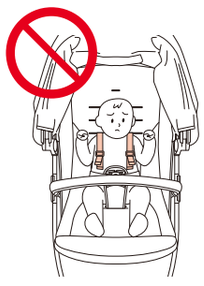
バランスを崩したり、足下が見えなくて転倒するおそれがあります。

お子さまを乗せたまま持ち上げない。



お子さまの首にベルトが巻き付き窒息するおそれがあります。

肩ベルトは必ず腰ベルトに差し込み、フリーにさせないこと。また、お子さまの体格に合わせて調節すること。



路面の影響も加わって、ベビーカー内の温度が高くなるおそれがあります。

気温が高い時や日ざしが強い時は、長時間使用しない。



⚠警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。



開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。

ベビーカーが破損し、ベビーカーや使用者が転倒するおそれがあります。



ハンドルに過度の荷重をかけない。

ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

・お子さまにベビーカーを操作させない。
・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。頭側に寄りすぎるとベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。
・弊社サービス員以外は、ネジやナットなどの部品を取り外したり、分解・組立・改造をしない。（ただし付属部品の取り外しを除く。）
・シートを外した状態で使用しない。
・急激に力を加えたり、落下、放り投げなどによる強い衝撃が加わった後に使用しない。
・お子さまの遊び道具として使用しない。
・電車などのご利用時には、無理な乗り降りはしない。ベビーカーが電車などの自動ドアにはさまれても感知されない場合があり、大変危険です。

⚠注意　誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

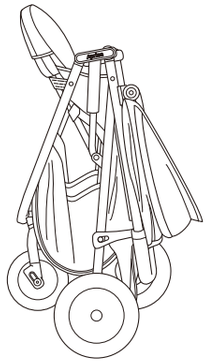
・必ず定期的に点検とメンテナンスを行ってください。
・ご使用前に、ベビーカー本体とシート、日除けが正しく取り付けられていることを確認してください。
・可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはシリコン滑走剤をご使用ください。
・長期間ご使用されていなかったベビーカーを再度ご使用になる場合には、必ず点検とメンテナンスを行ってください。
・空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道など、危険な場所にベビーカーを放置しない。
・ネジやナットなどがゆるんだ状態で使用しない。
・2 台のベビーカーを連結して使用しない。
・前輪を持ち上げた状態で走行しない。後フレームの曲りや折れの原因になります。
・ベビーカーにお子さまを乗せて走行するときは、お子さまのために普通の歩き方（時速約 4 キロメートル位の速さ）で押す。
・ベビーカーを砂場や泥水のあるところで走行させない。砂などが入り車輪やキャスターがスムーズに回らなくなる原因となります。
・フレームに砂や泥の汚れをつけたままで使用しない。スライド部に砂などが入り開閉できなくなります。
・ベビーカー本体にはお子さまを乗せることを目的とした市販のボードなどは取り付けないでください。破損の原因となります。
・カゴに重量 5kg 以上の荷物を入れない。
・保護者、介添者などが、ベビーカーに腰掛けない。
・荷物などの運搬のために使用しない。
・その他、お子さまを乗せる以外の目的で使用しない。
・バスの中では使用しないでください。
本製品は、バスの中で使用することを目的として設計されたものではありません。本製品をバスの中で使用すると、カーブや急ブレーキなどで転倒や思わぬ事故につながります。
・電車の中での使用について。
本製品は電車の中で使用することを目的として設計されたものではありません。お客様の責任により、本製品を電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するなどのおそれがありますので、必ずストッパーをかけて、充分注意してご使用ください。
・雪が積もった所や、凍結した路面では使用しない。
・風の強い時は使用しない。
・雷の時は使用しない。
・室内、火気の近く、高温になる場所ではレインカバーなどを使用しないでください。ベビーカー内部の温度が高くなりすぎるおそれがあります。
・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しない。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
・段差を乗り越えにくい場合は後輪をつなぐバーの部分に足裏をあて、ハンドルを手前に引いて乗り越えてください。
・その他、ベビーカーの故障の原因となるようなことはしない。

製品を取り出した時に

・製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
・欠品や破損の際は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。(P29 参照)
・ご使用の前に、P30「保証書」に次の項目をご記入ください。
　①品番、ロット番号(P6「各部の名称」参照)
　②購入日
　③お客様のお名前、住所、電話番号
　④販売店名
・レシート(領収書)を本書と一緒に保管してください。(P29 参照)

本 体

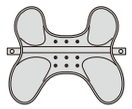
・箱から取り出した時は折りたたんだ状態、フロントガードが取り外された状態になっています。
　ご使用前に必ずフロントガードを取り付けてください。
・ベビーカーの組み立て方はP7を参照ください。
・組み立てに器具、工具は必要ありません。
・フロントガードは箱から取り出した時には、カゴの下部に収納されています。フロントガードを取り出す際には、カゴ下部の面ファスナーを外さないようご注意ください。



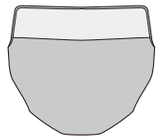
付属品



頭マモールパッド
(本体に装着されております。)



腰マモールパッド



ブランケット



フロントガード
(箱から取り出した時には、カゴの下部に収納されています。)



取扱説明書／保証書
(本書)

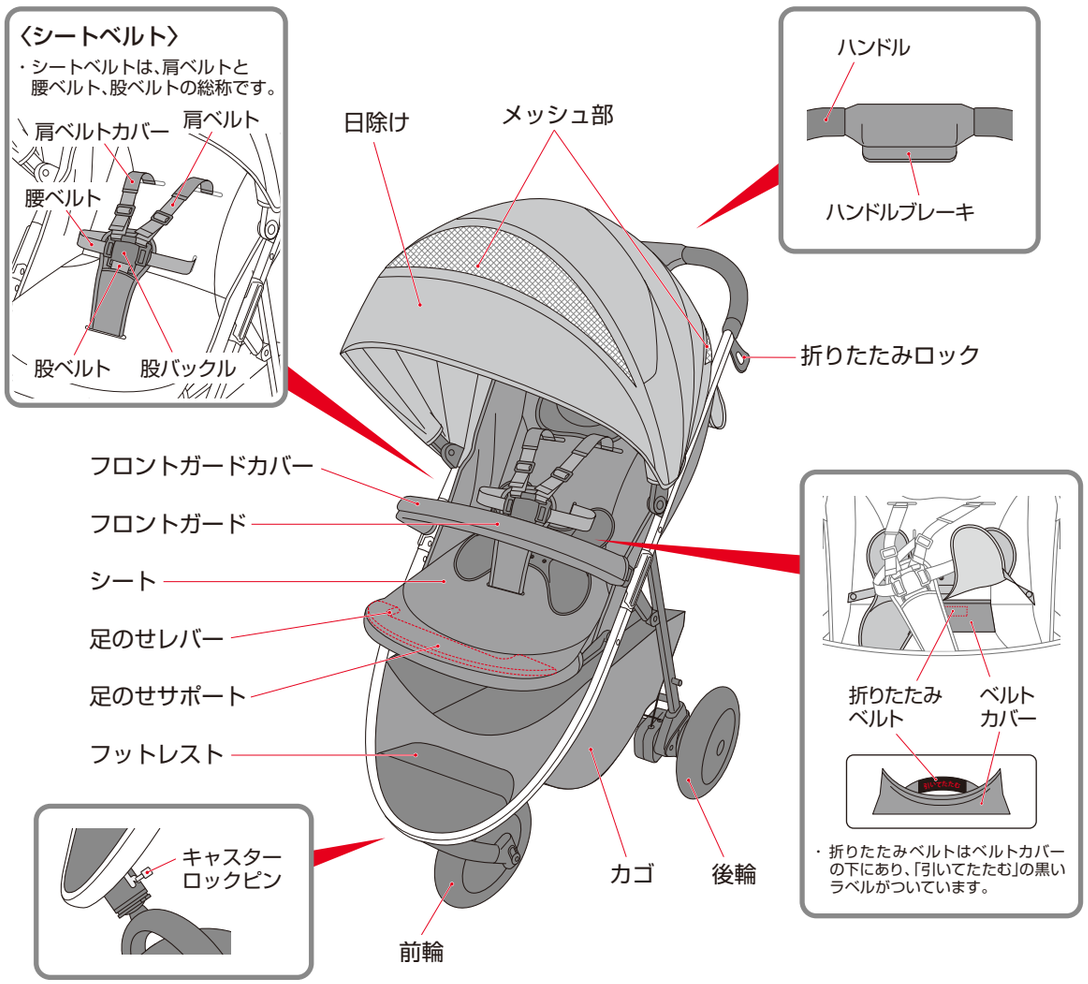
⚠警告

・製品が入っていた箱、梱包部材、ポリ袋をお子さまの手の届く所に放置しない。
　お子さまがかぶったりして窒息するおそれがあります。

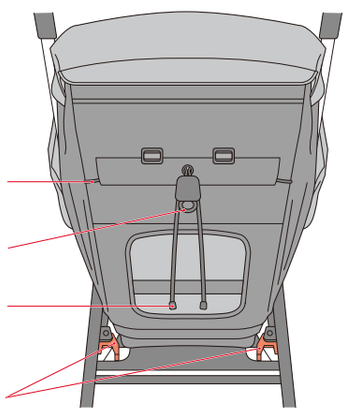
〈製品の特徴〉

・ハンドルは背面側固定式です。
・前後折りたたみ方式です。
・車体を折りたたんだ状態で自立します。
・フレームには軽量なアルミパイプを使用しています。
・マグネットバックルを使用しています。

各部の名称

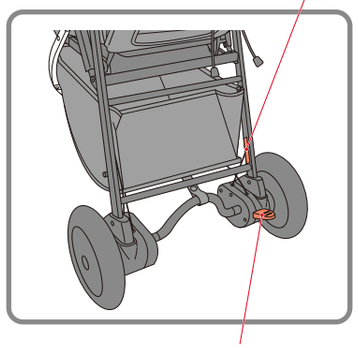


〈背もたれ背面〉



品名・品番ロット番号シール

・保証書記入時に参照ください。

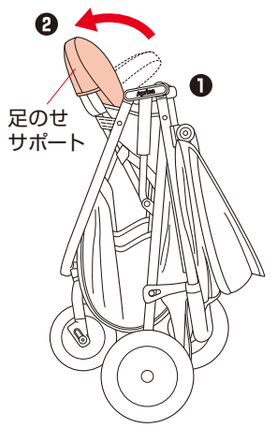


ベビーカーの組み立て・開き方

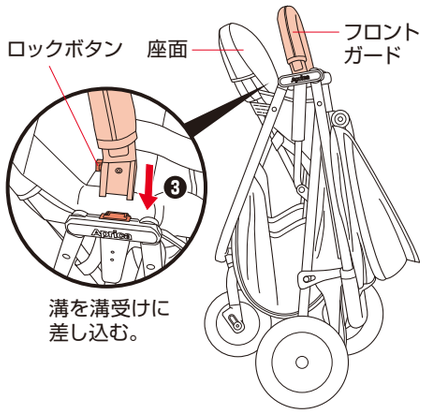
警告
・組み立てや開閉操作は必ず大人が行い、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるおそれがあります。
・お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い ・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2～3回繰り返して操作してください。

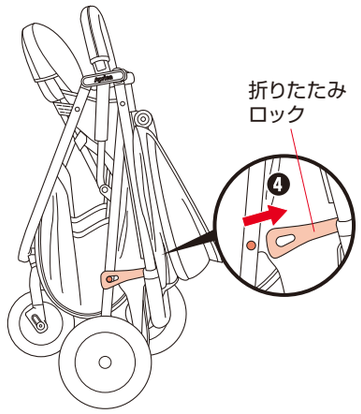
〈組み立て・開き方〉



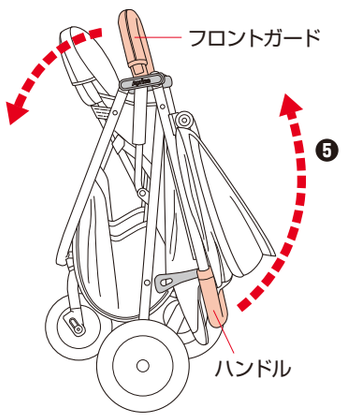
❶車体を起こす。
❷足のせサポートを起こす。

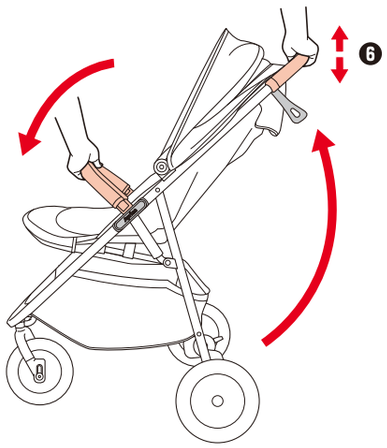


❸フロントガードを車体に差し込む。
・フロントガードのロックボタンを座面側に向けて差し込む。

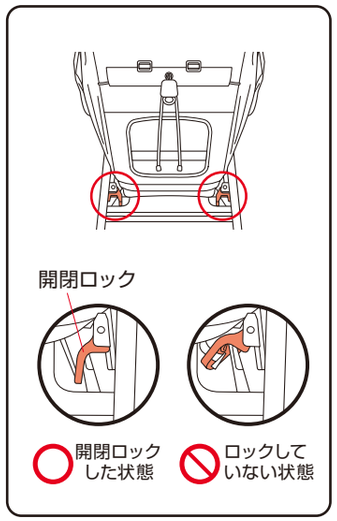


❹折りたたみロックを解除する。





❺ハンドルとフロントガードを持ち、開く。
❻使用前はハンドル部分を2～3回上下させ、完全に車体が開いていることを確認する。



・開閉ロックが下りていることを確認する。(左右)

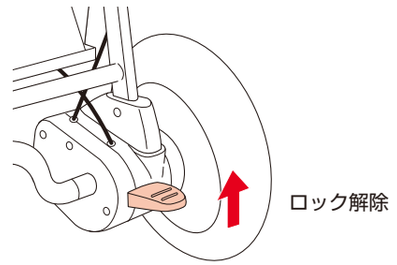
ストッパーの使い方

警告
・お子さまを乗せる時や降ろす時は必ずストッパーをロックすること。
・お子さまを乗せた時には、ストッパーを過信しない。路面の状態、構造の機能上、耐久性などから、絶対的に動かないようにできるものではありません。
・ストッパーをロックしていても、お子さまを乗せたままベビーカーから離れない。

注意
・お子さまを乗せていない時でも、ベビーカーから離れる場合は、ストッパーをロックしてください。

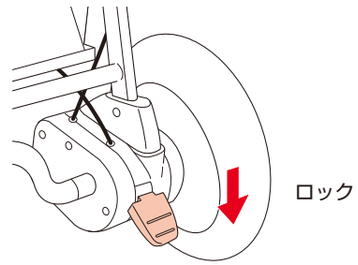
・後輪右側にあるストッパーを押し下げることで、左右両方の後輪をロックすることができます。

〈ストッパーをロック解除する場合〉



●車輪のストッパーを押し上げてロック解除する。

〈ストッパーをロックする場合〉

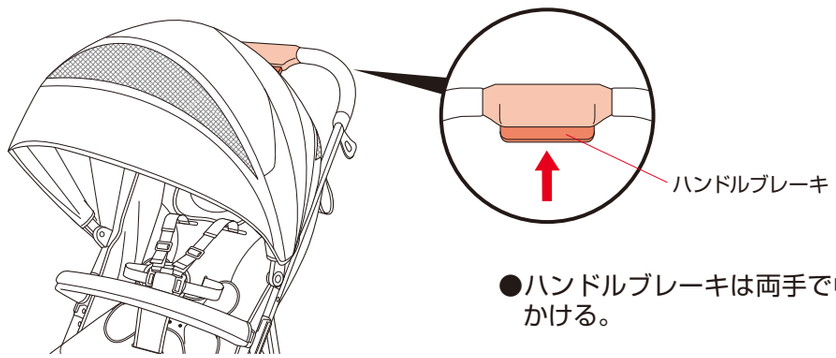


❶車輪のストッパーを押し下げてロックする。
❷前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認する。

ハンドルブレーキの使い方

警告
・ハンドルブレーキを使う時は、両手で中心部を握ってください。ハンドルブレーキの端側一方を握ると片側のみにブレーキがかかるため、バランスをくずし転倒するおそれがあります。
・走行中の急ブレーキは転倒などの事故につながるおそれがありますのでご注意ください。
・ベビーカーを長時間停止させる場合や、信号や踏切などで停止する場合はハンドルブレーキではなく、ストッパーで確実に停止させてください。

・ハンドルブレーキを握ることで、左右両方の後輪にブレーキがかかります。

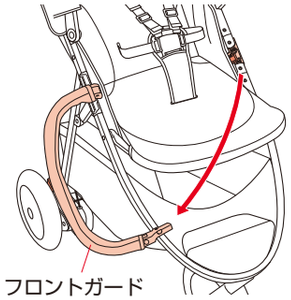


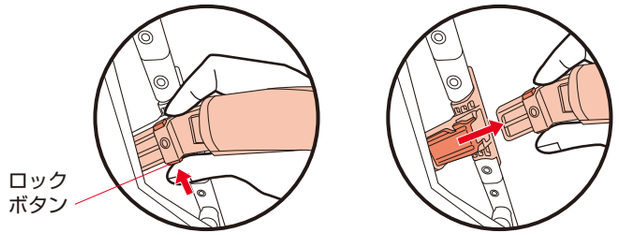
●ハンドルブレーキは両手で中心部を握ってかける。

フロントガードの開き方

警告
・開いた状態のフロントガードを振り回したりしない。お子さまにフロントガードが当たり、けがをするおそれがあります。
・フロントガードを操作する時は、お子さまの指や手足を挟まないようにすること。
・フロントガードを持って、お子さまを乗せたままのベビーカーを持ち上げたり、引っ張ったりしない。

・フロントガードは左右どちらでも開くことができます。



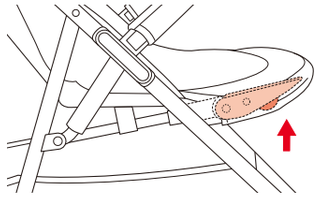


●下側のロックボタンを押しながら、フロントガードを前方に引き抜く。

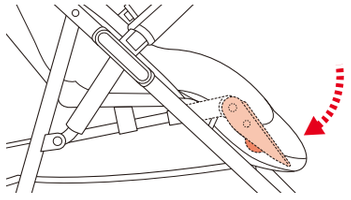
足のせサポートの使い方

・足のせサポートは、背もたれを倒した時などにお子さまを楽な姿勢にすることをサポートします。

〈足のせサポートを使用しない場合〉

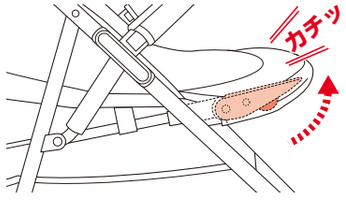


❶シート内部の足のせレバーをつまみ、(左右)



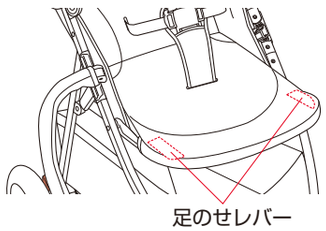
❷足のせサポートを下げる。

〈足のせサポートを使用する場合〉



●シート先端を持ち、足のせサポートを水平まで上げる。

〈内部の足のせレバー位置〉



警告
・保管時以外は、足のせサポートを上側に上げない。
お子さまを乗せているときに上側に上げると、思わぬ事故の原因になります。



シートベルトの使い方

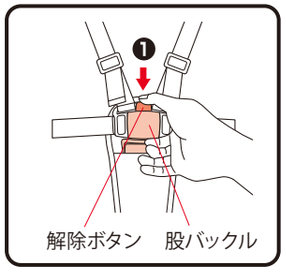
バックルについて

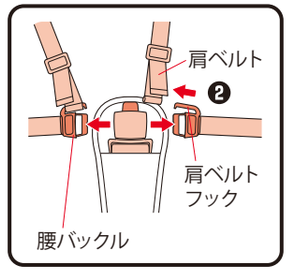
・本製品のシートベルトのバックル（股バックルおよび腰バックル）には、マグネットが使用されております。

警告
バックルのマグネットがペースメーカの作動に影響を及ぼすおそれがあります。
・ペースメーカをご使用のお子さまを本製品に乗せないでください。
・ペースメーカをご使用の方がベビーカーを操作される場合は、ペースメーカの植込み部位をバックルに近づけないでください。

注意
・クレジットカードなど、マグネットの影響を受ける可能性のあるものをバックル付近に近づけないでください。
・シートベルトを外した状態でベビーカーを折りたたんだり、ベビーカーを放置したりしないでください。バックルが破損したり、バックルのマグネット部分に異物が付着し確実にロックできなくなったりするおそれがあります。

シートベルトの外し方

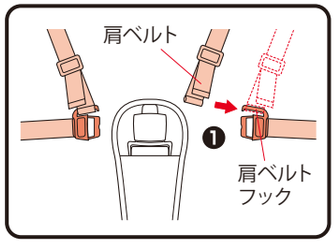


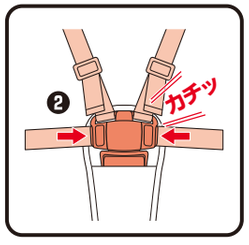


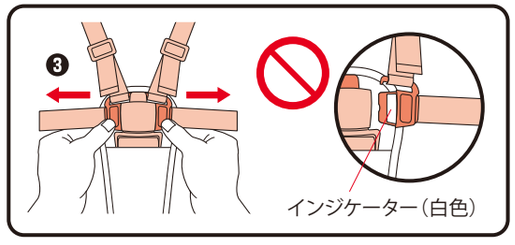
❶股バックルの解除ボタンを押し、腰バックルを外す。(左右の腰バックルが同時に外れます。)
❷肩ベルトを肩ベルトフックから抜く。(左右)

アドバイス
・股バックルの解除ボタンはお子さまが容易に操作できない強さに設定されています。
シートベルトを外す際は、解除ボタンは最後までしっかり押し込んでください。

シートベルトの締め方（バックルのとめ方）





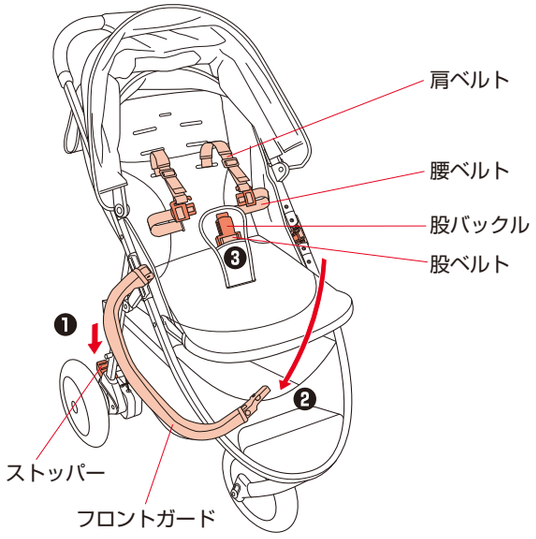


❶肩ベルトを肩ベルトフックに差し込む。(左右)
❷腰バックルを股バックルに差し込む。(左右)
(マグネットで腰バックルが引き込まれ、「カチッ」と音がしてロックします。)

❸腰バックルのインジケーター（白色）が見えていないことを確認した上で、左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。

アドバイス
・バックルに異物の付着がないことを確認してからバックルを差し込んでください。
・バックルにベルトや布などが挟みこまれた場合は、一度バックルを外し、差し込み直してください。

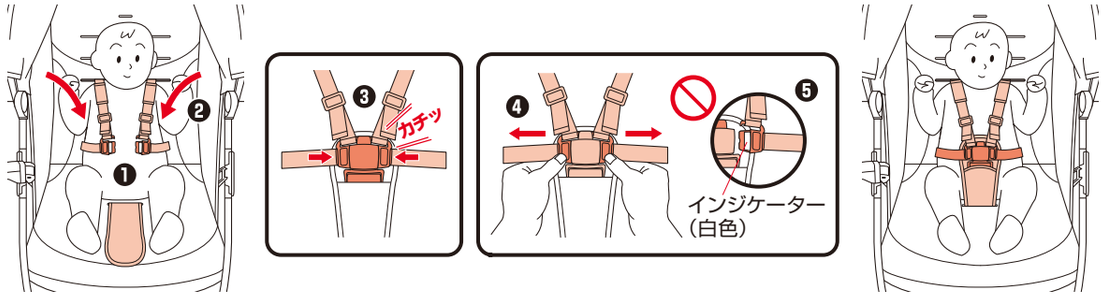
1 準 備



❶ストッパーをロックする。(P8参照)
❷フロントガードを開く。(P9参照)
・下側のロックボタンを押して開く。
(フロントガードは左右どちらへも開くことができます。)
❸股バックルの解除ボタンを押し、腰バックルを外す。(P10参照)

〈足のせサポートを使用する時は〉
P9「足のせサポートの使い方」を参照ください。
〈肩ベルト位置を変える時は〉
P13「肩ベルトの高さ調節」を参照ください。
〈リクライニングの角度を変える時は〉
P14「リクライニングの角度調節」を参照ください。

2 お子さまを乗せる



❶お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せる。
❷お子さまの腕を肩ベルトに通す。
❸バックルをとめる。(P10 参照)
❹左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。
❺腰バックルのインジケーター(白色)が見えていないことを確認する。

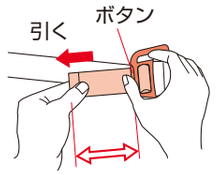
アドバイス
・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表に来るようにして使用してください。
・肩ベルトがねじれていないか確認してください。

⚠警告
・シートベルトを締めた後は、左右の腰バックルを引っ張って外れないことを確認する。締め方が不完全な場合、使用中に外れてお子さまが落ち、けがをするおそれがあります。
・肩ベルトは必ず肩ベルトフックに差し込んで使用し、フリーにさせないこと。肩ベルトがお子さまの首に巻き付くおそれがあります。
・バックルをとめる時に、お子さまの手足や衣服を挟まないように注意してください。
・シートベルトを締めていても、お子さまから目を離さない。お子さまが立ち上がって落ちたりするおそれや、予期せぬ行動が思わぬ事故につながるおそれがあります。
・お子さまの股間を股ベルトの位置に合わせて乗せること。頭側に寄りすぎるとベビーカーが後方に転倒するおそれがあります。

3 ベルトの調節

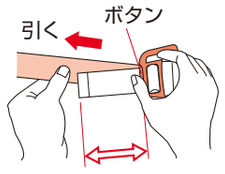
腰ベルト

〈締める時〉



出しろは3cm以上残す

〈ゆるめる時〉

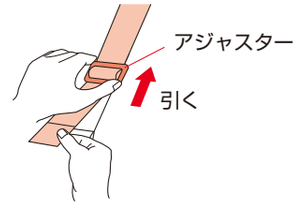


出しろは3cm以上残す

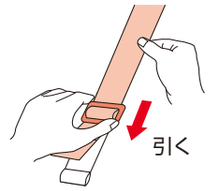
●ボタンを押しながらベルトを引き、長さを調節する。

肩ベルト

〈締める時〉



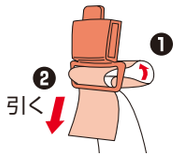
〈ゆるめる時〉



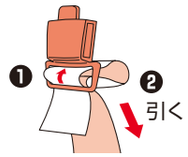
●アジャスターを引き、長さを調節する。

股ベルト

〈締める時〉



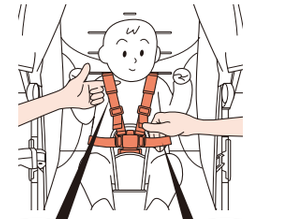
〈ゆるめる時〉





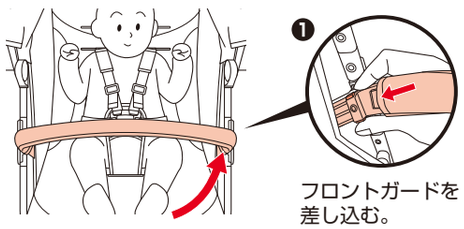
❶ベルトを矢印の方向に送り、
❷ベルトを引き、長さを調節する。
❸ベルトの調節後、股バックル裏のホックを股ベルトカバーにとめる。

ベルトの調節の目安

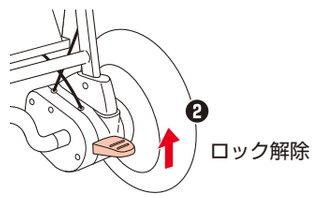


⚠警告
・肩ベルト、腰ベルト、股ベルトはお子さまの成長に合わせて調節すること。
肩ベルト、腰ベルト、股ベルトがゆるい場合は、締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。
・腰ベルトの末端の出しろ(⟺ 部分)は必ず3cm以上残す。
・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。
・フロントガードを閉じる時にお子さまの指を挟まないよう注意すること。
・フロントガードを装着した後、確実にロックされているか引っ張り、確認する。
・お子さまを乗せたまま、フロントガードを持ち上げない。

4 最後に



❶フロントガードを閉じて



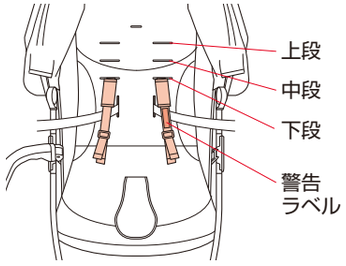
❷ストッパーをロック解除する。

肩ベルトの高さ調節

警告
・お子さまの成長に合わせて肩ベルトの高さを調節してください。
・肩ベルト調節後、2〜3回引っ張り、肩ベルトが外れないことを確認する。肩ベルトが外れると、お子さまが落下するおそれがあります。

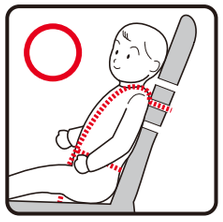
〈肩ベルト位置〉

・箱から取り出した状態では、下段にセットされています。



〈肩ベルトの目安〉

・肩の位置より下段に通す。



・肩ベルトの位置は以下の3段階に調節してください。

月齢(体格)の目安	肩ベルト通し穴位置
18カ月〜36カ月	上　段
7カ月〜18カ月	中　段
1カ月〜7カ月	下　段

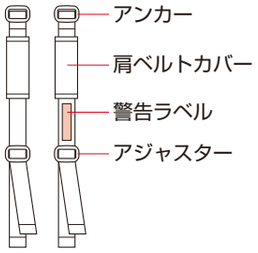
※上記表示は目安であり個人差があります。

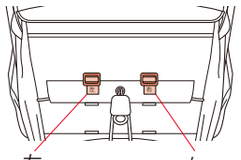
アドバイス
・肩ベルトは装着時に警告ラベルが表にくるようにして使用してください。
・肩ベルトがねじれていないか確認してください。

〈肩ベルトの高さ調節のしかた〉

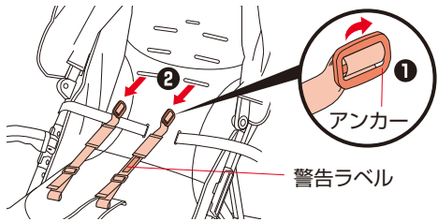
●股バックルの解除ボタンを押し、肩ベルトフックから肩ベルトを抜く。（P10参照）

〈ベビーカー背面〉



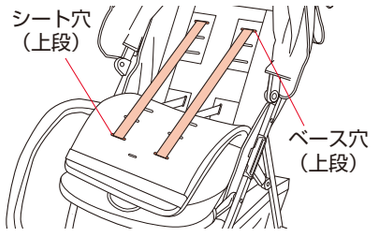


・左側には左のラベルが付いた肩ベルト、右側には右のラベルが付いた肩ベルトを通します。



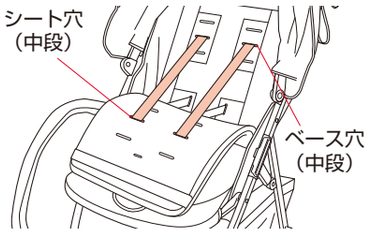
❶肩ベルトのアンカーをひねる。
❷背もたれとシートの肩ベルト通し穴から肩ベルトを抜く。(左右)

〈上段を使用する時〉



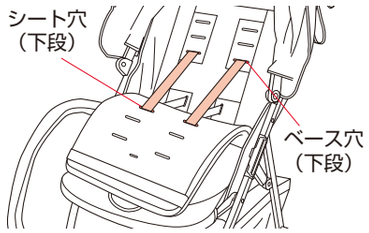
●シート穴(上段)とベース穴(上段)に通す。

〈中段を使用する時〉



●シート穴(中段)とベース穴(中段)に通す。

〈下段を使用する時〉



●シート穴(下段)とベース穴(下段)に通す。

●肩ベルト高さ調節後、2〜3 回引っ張り、肩ベルトが外れないことを確認する。

リクライニングの角度調節

・リクライニングの角度調節機能は、お子さまの姿勢を快適に保つことをサポートします。
・一番倒した状態では、お子さまが乗って平らになるように設計されています。

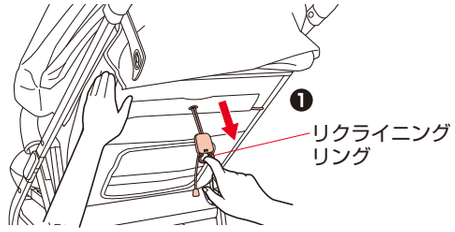
〈リクライニング位置の目安〉

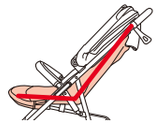
月齢（体格）の目安	リクライニングの位置
1カ月〜首がすわるまで	一番倒した状態
首がすわってから、ひとり座りできるまで	一番倒した状態〜中間位置
ひとり座りできてから	一番倒した状態〜一番起こした状態

※上記表示は目安であり個人差があります。

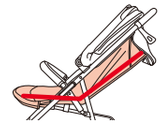
背もたれを倒す時

・肩ベルトをゆるめる。(P12 参照)

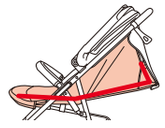




〈一番起こした状態〉



〈中間位置〉



〈一番倒した状態〉

❶片方の手でお子さまを支えて、リクライニングリングを引く。

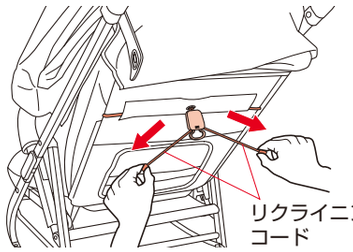
❷リクライニングリングを引きながら背もたれを倒し、角度を調節する。

・リクライニング調節後、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。(P12 参照)

警告
・お子さまを乗せた状態で背もたれを倒す時は肩ベルトをゆるめてから行う。
・リクライニングの角度を調節するたびに、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトの長さを調節する。肩ベルト、腰ベルト、股ベルトがゆるい場合は、シートベルトを締めていても立ち上がり、お子さまが落下するおそれがあります。

注意
・ベビーカーを押しながらリクライニングの調節をしない。
・お子さまを乗せたままリクライニング調節をする時は、お子さまの体重を支え、急に角度が変わらないように注意する。
・ひとり座りができないお子さまは、背もたれを倒して使用する。

背もたれを起こす時



●お子さまの体重が背もたれにかかっていない状態で、リクライニングコードを左右に引く。

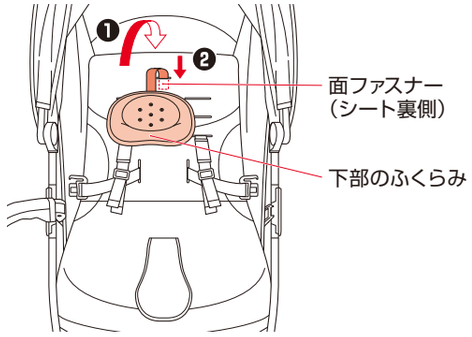
アドバイス
・お子さまの体重を背もたれにかけた状態では、起こすことができません。

パッド類の取り付け方

・頭マモール、腰マモールは、ベビーカー内において、お子さまの姿勢を適切に保つことをサポートします。

頭マモールパッド　首すわりの頃(月齢の目安:4カ月頃)までご使用ください。

・頭マモールパッドは肩ベルト位置が下段でのみ使用してください。お子さまの発育に合わせて最長7カ月頃まで使用できます。（肩ベルトの高さ調節はP13参照）



❶背もたれを一番倒した状態にする。(P14参照)
❷パッド取り付け穴に面ファスナー付きベルトを矢印方向に通し、シート裏側の面ファスナーに取り付ける。

アドバイス ・パッドが取り付けにくい場合は、シートの上部を外して、シートの裏側を見ながら取り付けてください。(シートの取り外し方はP21❹参照)

注意
・頭マモールパッドは、肩ベルト位置が中段や上段の時は使用できません。また、パッド下部のふくらみの位置がお子さまの首の後ろに合わなくなった時は取り外す。

〈頭マモールパッドの取り付け位置について〉

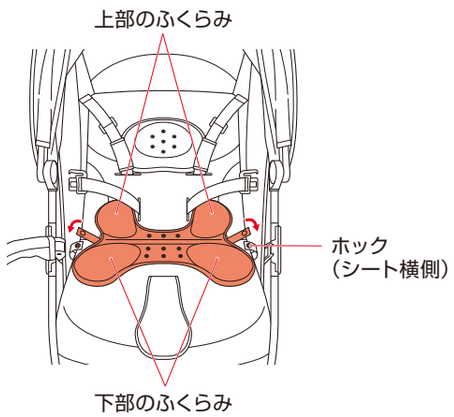


・パッド下部のふくらみがお子さまの首の後ろに合うように取り付けてください。

※パッド下部のふくらみの位置がお子さまの首の後ろに合わなくなった時は取り外してください。

腰マモールパッド　（1カ月～36カ月※ まで使用できます。）

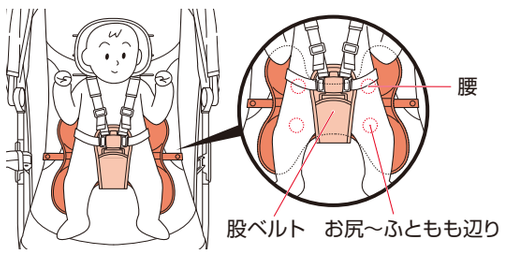
※36カ月未満でも、お子さまの体格によっては腰マモールパッドが合わなくなることがあります。その時は取り外してください。



●腰マモールパッド横側のホックをシート横側のホックにとめる。(左右)
・パッド類の取り外しは、逆の手順で行ってください。

〈腰マモールパッドへの乗せ位置について〉

・パッド上部のふくらみが腰
・パッド下部のふくらみがお尻～ふとももも辺りに接するように乗せてください。
上下のふくらみでお子さまの骨盤の四隅を支えるイメージです。



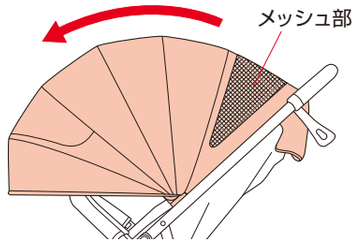
アドバイス ・お尻の位置が前方にずれて股ベルトを踏まないように乗せます。

日除けの使い方

警告
・日除けを開いたり折りたたんだりする時は、お子さまが接触した状態では行わない。
可動部でお子さまの指や手を挟むおそれがあります。

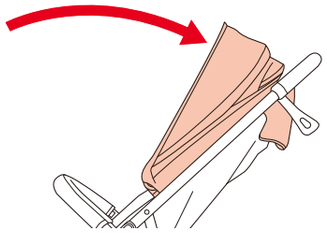
注意
・日除けは外さないでください。
無理に外そうとすると、思わぬけがをしたり、日除けが破損するおそれがあります。

開き方



●日除けを前方に開く。

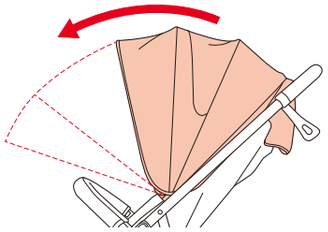
閉じ方



●日除けを閉じる。

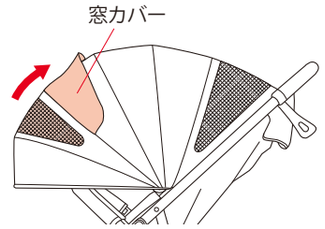
日除けの角度調節

・使用する位置でとめることで、日除けの角度を調節できます。



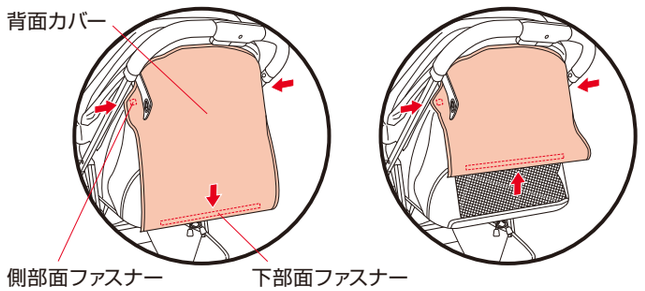
窓カバーの開き方

・日除けの前方の窓カバーを開けると、窓からお子さまの様子を見ることができます。



背もたれを倒したとき

・背もたれを倒したとき、背面カバーの側部及び下部面ファスナーをとめてください。(左右)
・背面カバー下部の面ファスナーは、とめる位置(上下)を変えるとシートへの通気を調節できます。



警告
・背面カバーの下部面ファスナーは必ず上下どちらかの位置でとめておくこと。
カバーがお子さまの顔にかかり、窒息するおそれがあります。

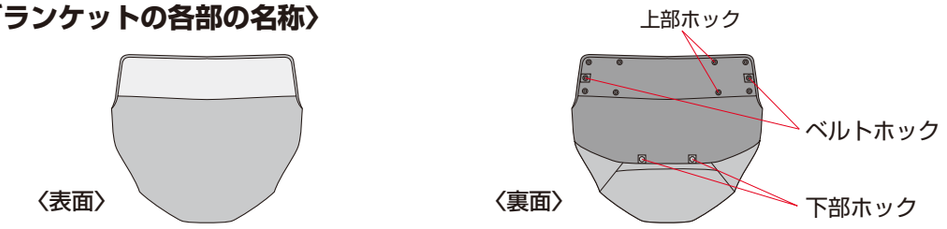
ブランケットの使い方

・ブランケットはお子さまの防寒、足元の日除けやほこり除けとしてお使いいただけます。

⚠警告

・ブランケットを本製品以外に使用しない。思わぬ事故の原因になります。
・ブランケットはお子さまの落下防止にはなりません。必ずシートベルトを締めて使用すること。
・ブランケット使用中は、手順通りにホックを確実にとめること。外れたまま使用すると、思わぬ事故の原因になります。
・お子さまの足がブランケットにつかえるなど、窮屈に感じられるようになったら、ブランケットの使用はやめる。
・ブランケットを使用しない時は、お子さまの手の届かないところに保管する。

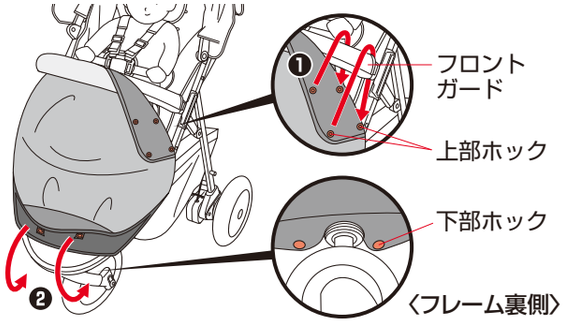
〈ブランケットの各部の名称〉



・ブランケットには2つの取り付け方法があります。

フロントガードに取り付けて使用

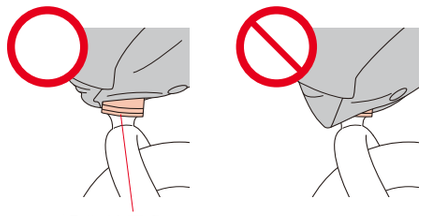
・足のせサポートは使用せず、下げた状態にして(P9参照)の使用をおすすめします。
・ブランケットを取り付けたままでもフロントガードを開いて、お子さまを乗せ降ろしすることができます。



❶フロントガードにブランケットの上側を巻き付け、上部ホックでとめる。(4カ所)
❷ブランケット下部ホックをベビーカーのフレーム裏側のホックにとめる。

・ホックをとめる時にキャスターをロックしないよう(キャスターロックピンを下げないよう)ご注意ください。(キャスターロックについてはP20参照)

⚠注意



・ブランケット下部ホックはキャスターの回転部分が見えるようにとめる。ブランケットが破損するおそれがあります。

〈ベビーカーを折りたたむとき〉

ブランケットをベビーカーから完全に取り外した後、ベビーカーを折りたたみます。

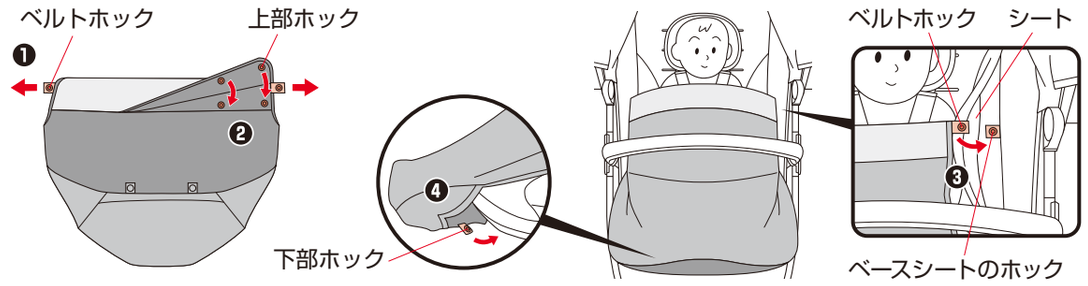
アドバイス ・取り外したブランケットは、軽くたたんでカゴに入れます。ブランケットはカゴに入れたままベビーカーを折りたたむこともできます。

⚠警告

・ブランケットを取り付けたままベビーカーを折りたたまない。ブランケットの生地が伸びたり、破損するおそれがあります。
・ブランケット下部ホックを付けたまま、フロントガードを外してカゴの中に入れたりしない。思わぬ事故の原因になります。

シートに取り付けて使用

・リクライニングを倒し(P14参照)、足のせサポートを水平まで上げて(P9参照)のご使用をおすすめします。



❶ベルトホックを外側に出す。(左右)
❷ブランケット上部を裏面側に折り、上部ホックをとめる。(4カ所)
❸シート脇をめくり、ベースシートのホックとブランケットのベルトホックをとめる。(左右)
❹足元側は、シートの先端にかぶせ、シート裏側のホックにとめる。(左右)

⚠警告

・ブランケットを使用するときは、常にお子さまの様子に注意する。ブランケットがお子さまの顔にかかると窒息するおそれがあります。

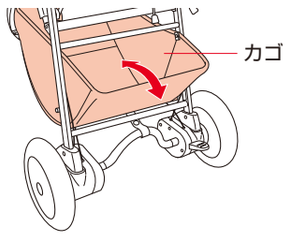
カゴの使い方

⚠警告

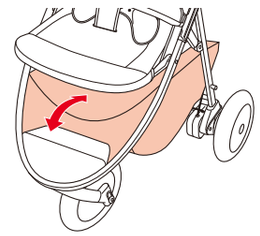
・カゴにお子さまを乗せない。
ベビーカーが破損し、お子さまや使用者がけがをするおそれがあります。

⚠注意

・カゴには鋭利な形状をした物を入れない。カゴが損傷することがあります。
・重量5kg以上の荷物を入れない。
・ベビーカーを折りたたむ時は荷物を取り出す。
・カゴには貴重品などは入れない。



●カゴの上部から、荷物の出し入れをします。
・カゴは取り外しできません。



●カゴの前側からも、荷物の出し入れができます。

アドバイス ・荷物はできるだけカゴ底に均等に荷重が加わるように載せてください。

ベビーカーの折りたたみ方

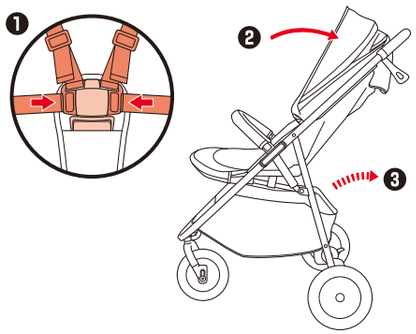
⚠警告
・開閉操作は、お子さまが接触した状態や近くにいる時には行わない。可動部でお子さまの指や手足を挟んだり、ベビーカーが身体にぶつかるなどしてけがをするおそれがあります。
・お子さまにベビーカーを操作させない。転倒や思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

⚠注意
・シートベルトを締めてからベビーカーを折りたたむこと。シートベルトがフレームに挟まってベビーカーが折りたためなくなったり、バックルの破損や、バックルのマグネット部分への異物の付着のおそれがあります。

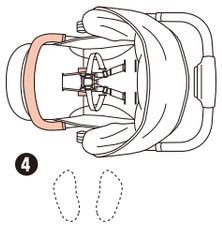
お願い　・梱包の関係上、最初はスムーズに開閉しない場合があります。2～3回繰り返して操作してください。

1 折りたたむ前に

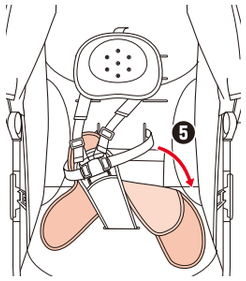
※ベビーカーにインファントカーシート･アタッチメント(別売り)を取り付けている場合はベビーカーを折りたたむことができません。取り外してから折りたたんでください。



〈車体を上から見た図〉



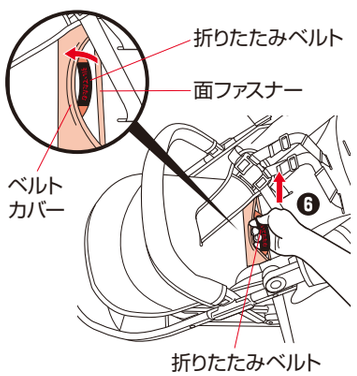
ベビーカーに対しての立ち位置



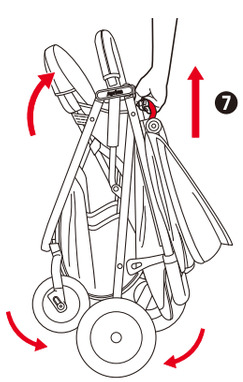
❶シートベルトを締める。(P10 参照)
❷日除けを閉じる。(P16 参照)
❸カゴから荷物を取り出す。

❹車体を上から見て図のような位置に立つ。
（車輪の前に足を置かないようにご注意ください。）
❺腰マモールパッドを取り付けている場合はめくる。

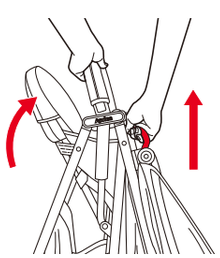
2 折りたたむ



❻ベルトカバーの面ファスナーを外してめくり、折りたたみベルトを握り、

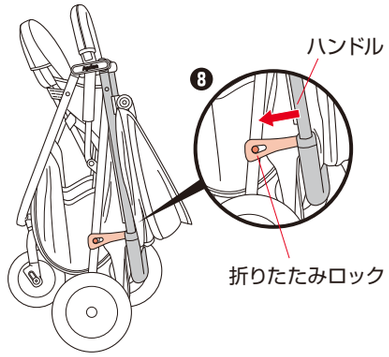


❼そのまま折りたたみベルトを引き上げると車体が折りたたまれます。

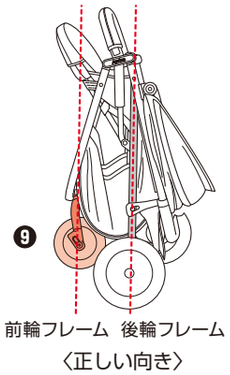


アドバイス
・車体が上手く折りたたまれない場合は、折りたたみベルトを勢いよく引き上げてください。
・折りたたみにくい場合は、もう一方の手でフロントガードを持って、両手で折りたたんでください。

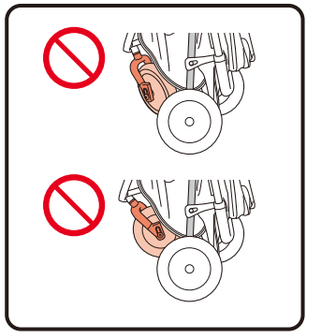
3 ロックと確認



❽折りたたみロックがかかっていることを確認する。かかっていない場合は矢印の方向にハンドルを寄せ、ロックをかける。



〈正しい向き〉



〈誤った向き〉

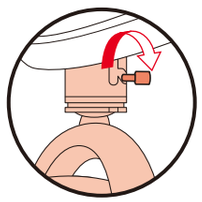
❾前輪の向きを確認する。
前輪フレームが後輪フレームに対しておおむね平行になっているのが正しい向きです。

アドバイス
・前輪の向きが正しくない場合、自立しません。前輪の向きを正しい向きに直してください。

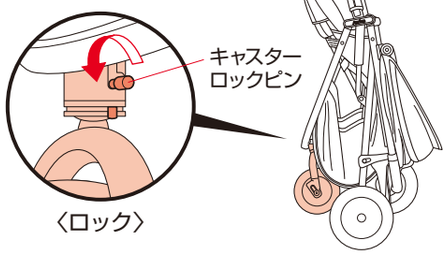
折りたたんだ後に

〈キャスターロック〉

・キャスターをロックすると転倒防止になり、さらに安定して自立します。



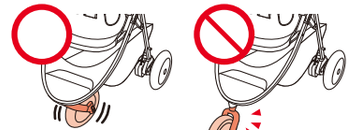
〈ロック解除〉



〈ロック〉

●ベビーカーを折りたたんだ状態で、キャスターロックピンを引いて下げロックする。

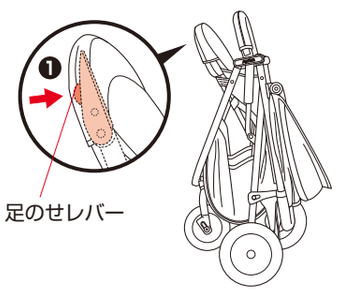
⚠警告



〈ロック解除〉　〈ロック〉

・キャスターをロックした状態でベビーカーを走行させない。ベビーカーが破損や、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

〈足のせサポート〉





・足のせサポートを上側に上げることで、よりコンパクトになります。

❶シート内部の足のせレバーをつまみ、（左右）
❷足のせサポートを上げる。

シートの取り外し方

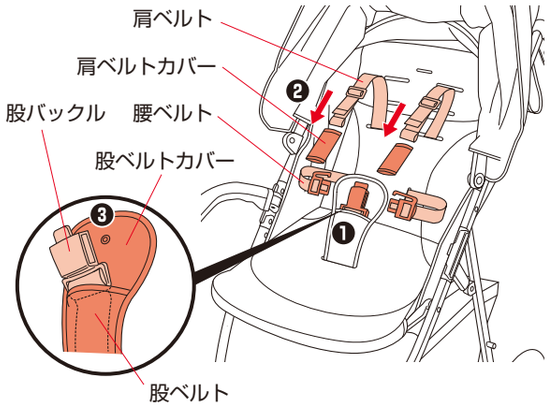
警告

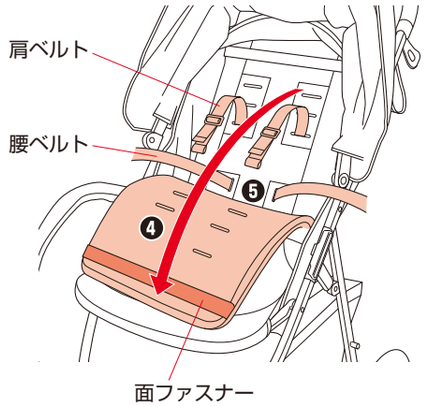
・シートを外した状態で使用しない。ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。

注意

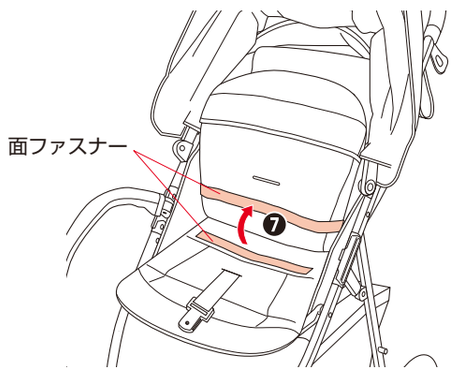
・破れやほつれのあるシートをそのまま使用しない。中の綿をお子さまが誤飲したり、シート本来の機能が果たせなくなるおそれがあります。

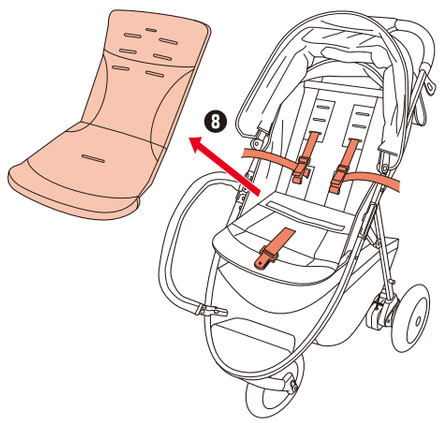
お願い ・シートの取り外し、取り付け作業により、爪が傷つくおそれがありますので、ご注意ください。





❶バックルを押してシートベルトを外す。
❷肩ベルトカバーを抜き取る
❸股バックルのホックを外して股ベルトカバーを抜き取る。





❹シートの背もたれ部裏側の面ファスナーを外してめくり、
❺肩ベルト、腰ベルトをシートから引き抜く。

❻シートの先端をめくり、股ベルトを引き抜く。
❼シート座面裏の面ファスナーを外す。

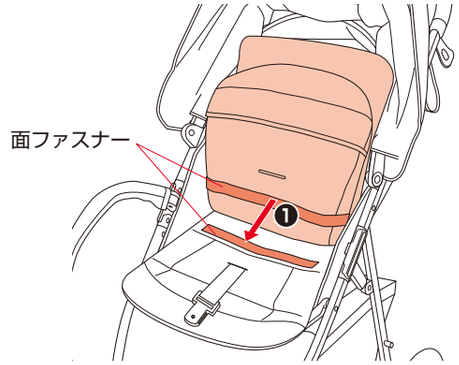
❽シートを取り外す。
・腰ベルト、股ベルトは取り外しできません。

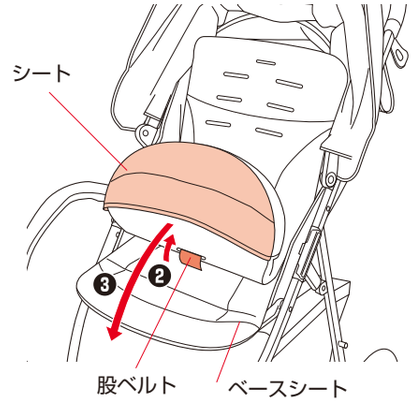
シートの取り付け方

警告

・シートを外した状態で使用しない。ベビーカーが破損し事故やけがにつながったり、思わぬ事故の原因になるおそれがあります。
・シートを取り付ける時はホックや面ファスナーを確実にとめる。
取り付けが不完全な状態で使用すると、ケガや破れなどの原因になります。

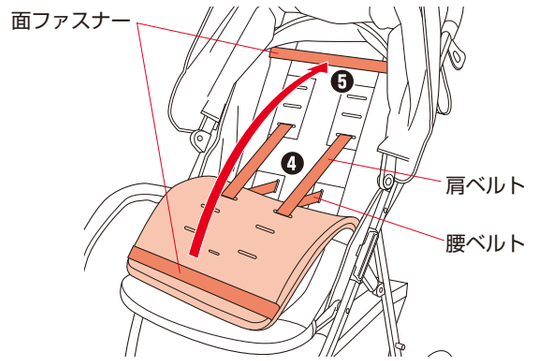
お願い ・シートの取り外し、取り付け作業により、爪が傷つくおそれがありますので、ご注意ください。

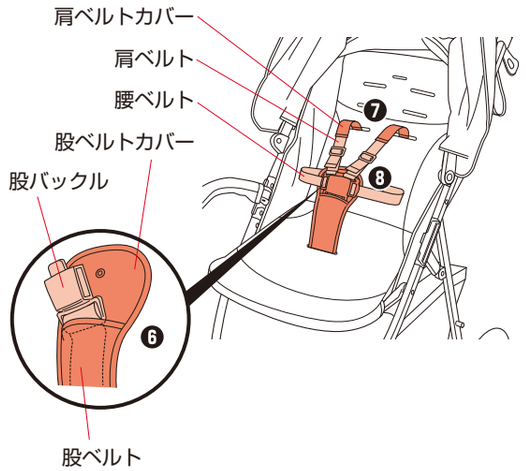




❶シート裏面の面ファスナーをとめる。

❷股ベルトを通し穴に通し、
❸シート先端をベースシートにかぶせる。





❹肩ベルト、腰ベルトをシートの通し穴に通す。
❺シートの背もたれ部裏側の面ファスナーをとめる。

❻股ベルトに股ベルトカバーを通して、股バックルのホックをとめる。
❼肩ベルトカバーを肩ベルトに通し、
❽シートベルトのバックルをとめる。

縫製品の洗浄方法

〈シート、ブランケットの洗浄について〉

・以下の点に注意して洗濯してください。



※洗濯ネット使用、ねじり又は絞り禁止

〈肩ベルトカバー、頭マモールパッド、腰マモールパッド、股ベルトカバーの洗浄について〉

・以下の点に注意して洗濯してください。



※ねじり又は絞り禁止

注意

・縫製品を屋外で干す時は、日陰の平干しにしてください。
・アルカリ性洗剤、酸性洗剤、塩素系漂白剤を使用しないでください。

〈フロントガードカバーの洗浄について〉

・フロントガードカバーは、水を含ませ固く絞ったタオルで汚れを拭き取ってください。

〈日除け、肩ベルト、腰ベルト、股ベルト、カゴの洗浄について〉

・丸洗いせずに、以下の要領で洗浄してください。

●水溶性の汚れ（果汁、ヨダレ、オシッコなど）**の場合**
40℃前後の湯にタオルを浸し、軽く絞って汚れた所を充分に洗います。その後、乾いたタオルなどで充分に水分を取って日陰で乾燥させます。

●非水溶性の汚れ（牛乳、油脂、マヨネーズなど）**の場合**
中性洗剤を40℃前後の湯に溶かし、汚れた所をブラシまたはスポンジで軽く洗います。
その後、冷水又は温水で中性洗剤を洗い流し、乾いたタオルなどで充分に水分を取って、日陰で乾燥させます。

注意

・縫製品に破損・異常が発生した場合、又は発見した場合は、そのまま使用せず、必ず弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。

車体のお手入れ

〈フレームや車輪のお手入れについて〉

・フレームや車輪についた砂や泥、ホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。
・腰バックルの表面に砂鉄などの異物が付着した場合は、粘着テープなどを使用すると取り除きやすくなります。

注意

・フレームや車輪に砂や泥、ホコリなどが付いたままで使用しないでください。スライド部に砂などが入り、開閉できなくなります。
・泥、ほこりなどの拭き取りには、シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。

〈ネジ・ナット類について〉

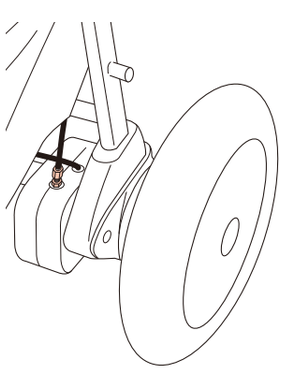
・ネジ、ナット類のゆるみがないか、時々点検の上、ゆるみが生じた場合は弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。（P29参照）

〈フロントガードについて〉

・フロントガードの差し込み部についたホコリなどは、そのまま放置しないで必ずよく絞ったぬれタオルなどを使用して拭き取ってください。

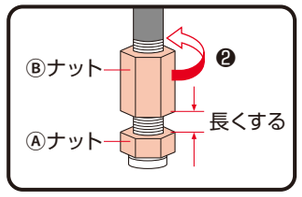
ハンドルブレーキの調節について

・下記の方法でブレーキの効きを調節してください。（左右後輪に調節ナットⒶ、Ⓑがあります。）
・ハンドルブレーキの調節には、8mmスパナやペンチなどの工具を使用し、ナットを傷つけないように調節してください。
・この調節を行っても改善されない場合は、弊社お客様サポートセンターへお問い合わせください。（P29参照）

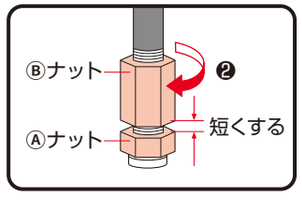


〈後輪〉

〈きつくする場合〉



〈ゆるめる場合〉



❶下側のⒶナットを反時計回りに回してゆるめる。

❷〈ブレーキをきつくする場合〉
・上側のⒷナットを反時計回りに回してナット間の長さを長くする。

〈ブレーキをゆるめる場合〉
・上側のⒷナットを時計回りに回してナット間の長さを短くする。

❸ゆるめた下側のⒶナットを時計回りに回して締め付ける。
❹反対側の後輪も同様に調節する。

❺ブレーキが左右とも同じようにかかることを確認する。

・お子さまを乗せない状態で、平らな場所でベビーカーを押しながら、ハンドルブレーキをかけて左右とも同じようにかかることを確認してください。

アドバイス ・ハンドルブレーキをかけていなくても、片側のブレーキが効きすぎていると、車体がどちらかに曲がってしまうことがあります。その場合は、曲がってしまう側（右に曲がる場合は右側）のブレーキをゆるめてください。

警告

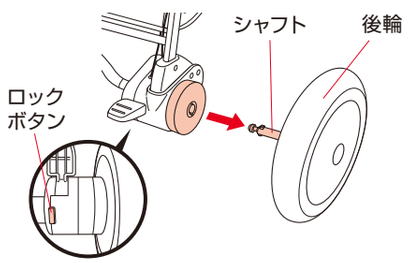
・お子さまを乗せたままブレーキ調節をしない。またブレーキの調節は安全な場所で行うこと。ベビーカーが転倒したり、思わぬ事故の原因になります。

タイヤのお手入れ

〈タイヤのお手入れについて〉

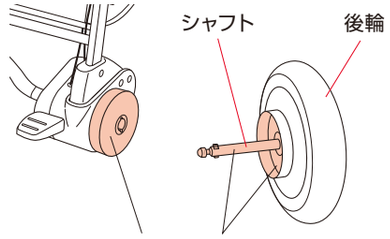
・タイヤは消耗品です。タイヤ交換が必要な場合は弊社お客様サポートセンターまでお問い合わせください。（タイヤ交換は有償）
・走行中、後輪がスムーズに回転しない場合や後輪から異音がする場合は、下記のように後輪を取り外して、お手入れを行ってください。
・前輪は取り外しできません。

〈後輪の取り外し方〉



●ロックボタンを押し、後輪を取り外す。（左右）

〈後輪のお手入れ方法〉



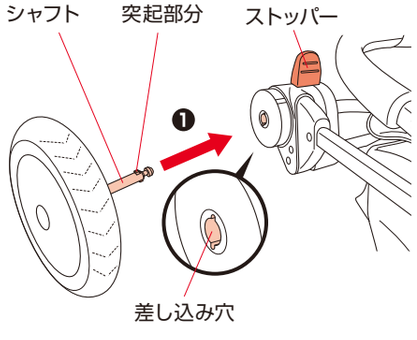
シャフトおよびこの部分の汚れを落としてください。

●砂や石などの異物が挟まっていないことを確認し、シャフトおよび上図の部分を乾いた布で拭いて汚れを落としてください。

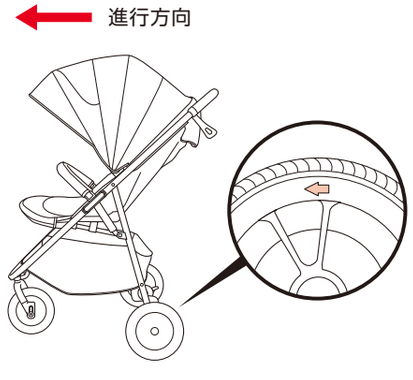
⚠警告

・後輪を取り外すときは、ベビーカーからお子さまや荷物をおろし、安全な場所で行う。ベビーカーが転倒したり、お子さまや荷物が落ちるおそれがあります。
・左右の後輪の取り付けが確実に終わるまでは、お子さまを乗せない。ベビーカーが転倒するおそれがあります。

〈後輪の取り付け方〉



❶後輪シャフトの突起部分を差し込み穴の溝に合わせ、差し込む。（左右）
❷差し込み後、2〜3回引っ張り後輪が抜けないことを確認する。

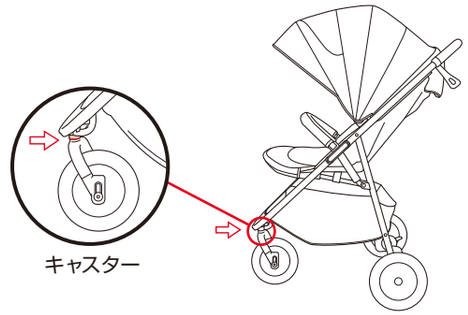


・後輪には、左・右があります。
・車輪上の ⇦ マークが進行方向になるように取り付けてください。

注油について

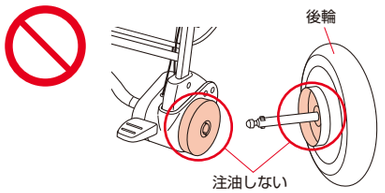
・可動部品には、適時注油するようにしてください。注油にはシリコン滑走剤を使用ください。
・注油の前には、泥やほこりを落とし、充分に水分を拭き取ってください。
・注油は、1カ所につき2〜3滴程度としてください。

●キャスターがスムーズに回転しない場合は、市販のシリコン滑走剤を図の⇨の箇所にさしてください。



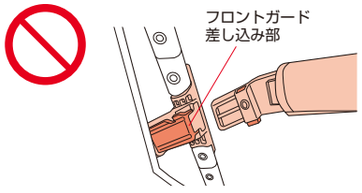
⚠警告

・後輪を外した時、下図の箇所には注油しない。ハンドルブレーキがきかなくなるおそれがあります。



⚠注意

・フロントガード差し込み部付近及び内部には、シリコン滑走剤などを付着させないでください。フロントガードが外れるおそれがあります。



保管について

・ベビーカーを折りたたみ、ポリ袋などに入れ、車体を立てた状態で直射日光の当たらない、冷暗所に保管してください。

⚠注意

・火の近くに置いたり、炎天下で高温になる車中に放置しないでください。プラスチック部品が変形し、性能を維持できなくなります。
・上に荷物を置いたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
・ベビーカーを寝かせたり、横向きにして保管しないでください。故障や変形の原因となります。

・誤った前輪の向き（P20参照）で保管しないでください。タイヤが変形するおそれがあります。



〈誤った前輪の向き〉

廃棄について

・お住まいの各自治体の指示に従って処分してください。
・環境保護のため、指示された場所以外には放置しないでください。

SGマーク制度について

SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、製品安全協会では損害保険会社と生産物賠償責任保険の契約を結んでおり、SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施します。
ただし、ベビーカーの場合、ご購入後4年以内の製品が対象となります。

インファントカーシートをベビーカーに取り付けてご使用される場合はSGマーク制度の対象となりません。

賠償についてのご注意
SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害（人的損害）について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、また、SGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害（物的損害）を賠償するものではありません。

製品の欠陥によって事故が起きた場合
事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。
連絡後、製品安全協会から送付されてくる事故発生届等を提出していただきます。（原則として60日以内）

製品安全協会　〒110-0012　東京都台東区竜泉2−20−2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03−5808−3300

〈事故の届出に必要な項目〉

①事故の原因となったＳＧマーク表示の製品
　イ）製品の名前、ＳＧマーク番号　ロ）製品の購入先、購入年月
②事故発生の状況
　イ）事故発生年月日　ロ）事故発生場所　ハ）事故発生状況
③被害の状況
　イ）被害者の氏名、年令、性別、職業、住所　ロ）被害の状況と程度

困った時

・下記の対処方法で解決しない場合は、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。（P28参照）

〈ご使用中に困った時〉

	お気づきの点	対処方法
開閉	ベビーカーが開かない	折りたたみロックを解除してから行ってください。（P7参照）
	ベビーカーが折りたためない	〈折りたたむ前に〉を行ってから折りたたんでください。（P19参照）
		リクライニングコードを引きすぎてしまった（背もたれを起こしすぎた）可能性があります。 リクライニングリングを引いて背もたれを少し倒し（P14参照）、もう一度ベビーカーを折りたたんでみてください。
		ブランケットを取り付けている時は取り外してください。（P17参照）
走行・方向転換・ブレーキ	ベビーカーが直進しない （左右どちらかに曲がってしまう）	平らな場所でお子さまを乗せずに直進させようとしても曲がる場合、ブレーキに左右差がある可能性があります。ブレーキを調節してください。（P24参照）
		お子さまが片側に寄って座っている場合は、シートベルトをしっかり締め、中央に座らせてください。
	ストッパーがきかない	ストッパー部に石などが挟まっていないか確認してください。
	ハンドルブレーキの効きが悪くなった	お子さまをベビーカーから降ろして、ハンドルブレーキの調節を行ってください。（P24参照）
	前輪キャスターの回りが悪い	キャスターにシリコン滑走剤をさしてください。（P26参照）
	後輪がスムーズに回転しない	後輪を取り外し、汚れを取り除いてください。（P25参照）
	後輪から異音がする	後輪を取り外し、汚れを取り除いてください。（P25参照）
		ブレーキが効きすぎている（きつくなりすぎている）可能性があります。ハンドルブレーキを調節してください。（P24参照）
リクライニング	背もたれが起こせない時	お子さまをベビーカーから降ろして、リクライニングコードを左右に引き、背もたれを起こしてください。（P14参照）
シートベルト	バックルがとめられない	衣類などの生地やシートベルトがバックル挟まっていたり、異物がバックルに付着していないか確認してください。
保管	ベビーカーを折りたたんだ状態で自立しない	前輪の向きが正しい向きになっているかを確認してください。（P20参照）
		前輪キャスターをロックしてください。（P20参照）
インファントカーシート（別売り）を取り付ける場合	インファントカーシートがアタッチメントに取り付けられない	アタッチメントとインファントカーシートの間にベビーカーのシートベルトなどがはさまっていないことを確認してください。
		アタッチメントのLとRが正しい向きに取り付けられているか確認してください。（アタッチメントの取扱説明書参照）

〈再利用する時〉

お気づきの点	対処方法
前の使用者がどのような使い方をしていたのかわからない時は	使用状態が不明な商品をご使用になるのはお勧めできません。
ベビーカーにクラック（ひび割れ）や大きな傷がある時は	ご使用になれません。

保証とアフターサービスについて

〈保証について〉

・保証期間中（購入日より１年間です。）に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。故障の箇所によっては、修理できない場合がございます。
ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は１カ月です。）
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。ただし、3年以内であっても部品の色、柄などについては、ご希望に添えない場合があります。）

〈アフターサービスについて〉

・ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、各部の固定部などにゆるみやきしみ音があったり、部品の欠落、車輪の回転の円滑さに異常がある場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号（下図参照）をご確認のうえ、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、後輪フレームシールの品名・品番・ロット番号を必ずお伝えください。



アフターサービスについての連絡先

ニューウェルブランズ・ジャパン合同会社

〈電話連絡先〉

ベビー事業部 お客様サポートセンター TEL **0120−415−814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担） **TEL 0570-004-155**

受付時間：AM10：00〜PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

お買い上げ時レシート
貼り付け位置

・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、ベビーカーお買い上げ時のレシート（領収書）を貼り付けてください。